

## 第2学年 ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主題 同和問題解決への取組と現代の課題～「部落差別解消推進法」から学ぶ

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

「部落差別解消推進法」が制定された背景を理解させ、現代のあらゆる差別を許さない、確かな人権感覚に基づく判断力を身に付けさせる。

4 指導計画

第1回 人権講演会「うたや人から学ぶ人権」…………… 1時間

第2回 インターネットにおける人権侵害…………… 1時間

第3回 人権講演会「ジェンダー平等と人権」…………… 1時間

第4回 同和問題解決への取組と現代の課題～「部落差別解消推進法」から学ぶ… 1時間（本時）

第5回 災害時における人権問題…………… 1時間

5 本時の学習

（1）目標

- ・「部落差別解消推進法」が制定された背景、目的を理解させる。
- ・現代も続く部落差別の実態と構造を理解させ、差別を許さずなくしていこうとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ……………基本的人権、個人の尊重

個別人権課題名……………同和問題

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	○ 本時の目標を確認する。	○ これまでの人権学習や人権講演会等の内容を振り返らせる。	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 戦後の同和問題解決への取組について理解する。</li> <li>○ 人権啓発動画「同和問題 未来に向けて」(5:12～8:58)を視聴し、国の同和問題解決のための取組について確認する。</li> <li>○ 「部落差別解消推進法」が制定された背景について考える。</li> <li>○ 現代に残る部落差別の現状について確認する。</li> <li>○ 部落差別の実態から差別者の心理について考える。</li> <li>○ 差別のない社会を実現するために、自分たちに何ができるかを考える。</li> <li>○ 人権啓発動画「『誰かのこと』じゃない。」を視聴する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国の政策や取組によってどのように改善されてきたのかを理解させる。</li> <li>○ 必要に応じて動画の内容のメモをとらせる。</li> <li>○ 現在もなお部落差別が存在するという認識が法律で初めて示されたことを理解させる。</li> <li>○ インターネットの普及によって情報が拡散し、差別が深刻化している状況を理解させる。</li> <li>○ 「無知」「無理解」「無関心」が偏見や差別に繋がったり、差別を助長したりすることに気付かせる。</li> <li>○ 自分自身の問題としてとらえさせる。</li> <li>○ 同和問題について、正しく「学ぶ」ことの重要性を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「部落差別解消推進法」が制定された背景、目的について理解できたか。(知識的側面)</li> <li>○ 差別の構造を客観的に理解できたか。(知識的側面)</li> </ul>
まとめ (5分)	○ ワークシートに本時の学びをまとめ、感想を記入する。	○ 本時の学びを通して、差別を許さずなくしていこうとするために、実生活にどのように生かしていくか考えさせる。	○ 同和問題を自分自身の課題としてとらえ、差別を許さずなくしていこうとする意欲が高まったか。(価値的・態度的側面)

(参考資料)

・法務省ホームページ (<http://www.bl1.gr.jp/>)

(動画出典)

・MOJchannel 人権啓発動画「同和問題 未来にむけて」・「『誰かのこと』 じゃない。」